



おぎの

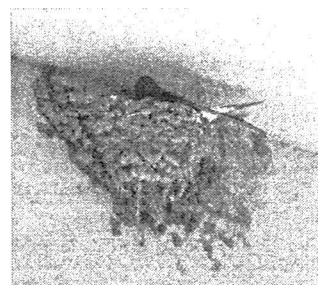
児童数（5月17日現在）	
1年：32	2年：24
3年：36	4年：31
5年：35	6年：46
合計	204名

令和5年5月26日発行
 厚木市上荻野8番地
 電話 046-241-1454
 校長 押切 晴美

「ツバメの子育てから学ぶこと」

校長 押切 晴美

今年もまた、昇降口にツバメが巣を作り子育てをしています。ツバメが巣作りをする家は幸福を招くという言い伝えがあるので、とてもうれしい気持ちで見守っています。親鳥が餌を持って帰ってくるツバメの巣では、4～5個の大きな雛の口が待ち構えています。どの口がさっき食べたばかりの口で、どの口がお腹を空かせた口なのかを親鳥はどうやって判断しているのでしょうか。一説によると、雛の声や餌を待つ場所で見分けているようです。お腹を空かせた雛は一番早く鳴き、また、他の雛を押しつけてどんどん巣の端っこに行く傾向があるそうです。ですから親鳥は、端の方にいる早く鳴いた雛に優先的に餌を与えているようです。必死に子どものために餌を運ぶ親ツバメの姿に感動を覚えると同時に、雛の声を聞くために耳を澄ませ、どんな状態にあるのかよく見て判断している親鳥に学ぶことがたくさんあります。元気に育ち、巣立ちの日を見守りたいと思います。



5月12日に、震度5強の地震が起きたことを想定し、荻野中学校区4校合同で「小中引き渡し訓練」が行われました。日差しが強い中でしたが、児童は約束を守って避難をしたり、静かに話を聞いたりすることができました。ご協力ありがとうございました。

小中合同引き渡し訓練



バードウォッチング

あの鳴いている鳥は何だろう。

5月19日に、3年生が地域の方と一緒に、バードウォッチングを行いました。鳥の鳴き声に耳を傾けたり、日頃は気に留めることがなかった草花の名前を教えてもらったりと、自然に親しみながら活動を行いました。



